国労鹿児島

発責　原村克則
☎ 099 254 0266

地区本部 組織拡大集会を開催

２月２０日ホテルタイセイにおいて、地区本部組織拡大集会を、平成採用加入者３名を迎え開催した。

千代森書記長進行により原村委員長が「加入した若手の仲間と議論し拡大に全力を挙げる、次の世代に引き継ぐために今回の集会をもっていることを確認しよう」と挨拶された。

続いて岩元九州本部書記長から、ダイヤ改正・春闘・全国の情勢について報告がされた。

集会は、水流九州本部組織部長の全国及び直方での報告として。①東日本の組織問題は未加入者が多数となっている。組合不要論の中で国労加入を進めている②組織の議論をする時期である。それを解決するのは組織拡大しかない。③福崎君加入で国労に対する目が変わった。掲示板もでき他労組も見ている。やれば相手も答えてくれると思ったと報告された。

報告される水流組織部長

加入者からの報告

後悔はしていない

長崎車掌で国労を知った国労の人と話や交流をしていた。それを通じて、会社や労組より国労の方が良いと思っていた。

今までは、何でも「達成すれば何も言われない。状況を考えるより、脱出したい考えでいた」

国労を知っていない人もいる。一人で入るのは勇気がいると言われるが、そうは考えてはいない。国労に入り、掲示板が出来て若い人が見ている。

「後悔はしていない」会社のやり方はおかしいと思っていてそのまま残っていたら賛同しているみたいで嫌だった。

もっと積極的に、若手への呼びかけと背中を押していくべきだと思う。

責任を取ってとは思っていない

国労ははじめ知らなかった、今の環境は労組では変わらないから国労に入った

責任をとれるかと言う話を聞くが、責任を取ってもらうとは思っていない　加入用紙が無いと加入は出来ない。いつも準備を。

若手はおかしいことに気づいていない。「おかしいという」疑問提起が必要。

入ったら意識は変わる。

国労に入ってどう変われたかを見せたい。

不満を聴き一歩前の行動が大事

仕事に不満を持っていた労組に相談したが変わらない。職場・組合に不信感があった。

あることで国労に相談したら会社側が一転して対応が変わった。

他労組の若手は、不満は持っている、話しを聴くことでも違う。

基本労働運動に興味がない。「変わることをどう思う」「何故労組に残る」「何で変われない」など一歩前にでる時である。

今こそ職場で組織拡大に打って出よう！

今回の集会で、我々の持つ弱点「責任を持てない」「入れて苦労させたくない」について、参加の加入者から、そんなことは考えてないと言う強い意志を聞かされ。自分達の構えの弱さを痛感させられた。

これを機会に全組合員が意識して組織拡大に向けて職場での活動・呼びかけを強めよう。

挨拶される原村委員長

九州本部岩元書記長

報告する柏木さん